

第2次神崎市総合計画策定に向けた

市民ワークショップニュース

3号

神崎市の戦略案と将来像案を話し合いました!

プログラム

1. 開会・あいさつ
2. 前回のふりかえり
3. 神崎市の重点プロジェクトを考えよう
4. 各グループの発表
5. 私のチャレンジ宣言
6. まとめ
7. 閉会



ワークショップの構成

第1回

平成 29 年 9 月 30 日 (土)
平成 29 年 10 月 1 日 (日)
テーマ
「神崎市の通信簿」

第2回

平成 29 年 10 月 14 日 (土)
テーマ
「神崎市の戦略」

第3回

平成 29 年 10 月 29 日 (日)
テーマ
「神崎市の重点事業」

今回は第2次神崎市総合計画策定に向けた、市民ワークショップ最終回でした。第2回目で挙げた「神崎市の戦略」を分野ごとに分け、今後5年間で取組む「神崎市の重点事業」について意見交換を行いました。

重点事業の取組み方について、「すぐやること(1~2年目)」「次にやること(3~4年目)」「時間をかけてやること(5年目)」と、段階的にどのように進めていけばよいか考える中で、プロジェクトを『自分ごと』として捉えることができたのではないかと思います。

ワークショップの最後は、これからのまちづくりへの関わり方を意思表示する、「私のチャレンジ宣言」を全員で行って締めくくりました。

全3回のワークショップが、皆さまの暮らしをより良くするきっかけになれば幸いです。ご参加いただきありがとうございました!

神埼市の重点事業 各班まとめ&「私のチャレンジ宣言」

1班まとめ

プロジェクト名称	地域間・住民同士の交流、助け合い・居場所づくり	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐやること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none">・情報が得られる場所づくり・情報誌づくり・インターネットでの情報発信・友達づくり・知り合いづくり	<ul style="list-style-type: none">・必要性を分かってもらう・断る人を減らす
次にやること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none">・サークルづくり・図書館での居場所づくり・人と出会える場所づくり	<ul style="list-style-type: none">・一言も喋らない人を減らす
時間をかけてやること 5年目	<ul style="list-style-type: none">・近所間での仮想三世帯・人と交わることの大切さを教育	<ul style="list-style-type: none">・生きがいの明確化
■誰がする（役割分担）		
住民がすること	<ul style="list-style-type: none">・参加する・施設の活用方法を考える	
行政がすること	<ul style="list-style-type: none">・イベントの開催・組織づくり・リーダーづくり・施設整備・環境づくり	
その他関係する仲間	—	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 私は野球が好きなので、野球のサークルづくりにかかわり、生きがいづくりをしたいです
- ◇ 何事にも関心を持ち積極的に参加する
- ◇ 参加する
- ◇ 知り合い・お友達づくり

2班まとめ

プロジェクト名称	公園、運動施設等の健康、憩いの場づくり	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐ やること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある施設の利用頻度、満足度調査 ・今ある公園の把握 ・情報発信し、今ある施設を利活用してもらう ・先生を介護施設から月1来てもらったり、プールの回数券を渡したりする ・NPO法人等活動団体の把握をし、実施主体を統一する ・神崎市マップにおとして、どこで何があるのか情報発信する。市報等に載せることも ・地区公民館等で簡単な運動等をするのに、地区に講師の方が回って来て貰って参加しやすくする 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状把握
次に やること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・遊歩道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 城原川沿い、駅北 ➢ 街灯、休憩所 ➢ 運動設備 ・市の市役所の施設で使えるところを利用する ・今ある施設の整備 ・現在実施してある運動サークル等の情報発信（種類、場所、時間） ・健康ポイントで利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の整備 ・情報発信
時間を かけて やること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな複合施設の建設 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 運動、セミナー、健康管理、風呂 ➢ バスも出せたらいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建設 ・健康づくり ・体力づくり ・市民交流
■誰がする（役割分担）		
住民が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・運動する ・市報の購読 	
行政が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の建設 ・情報発信 ・現状施設調査、アンケート調査 	
その他 関係する 仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・西九州大学とのコラボ 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 運動する（健康づくり）
- ◇ 運動を通して仲間（グループ）作り
- ◇ 連携して…。協力して…。参加して…
- ◇ 情報発信・運動の実践
- ◇ 運動する
- ◇ 運動（健康づくり）を通じた知り合いづくり

3班まとめ

プロジェクト名称	神埼の魅力PR、市外への情報発信	
■何をやる（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐ やること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS 等を利用した情報発信 ・ PR 時は目玉になるような表示をする ・ 神埼市のホームページを見たいと思ってもらえるように改善 ・ 九年庵でPR（人が集まる場所でPRする） ・ マスコミを活用 ・ TV で情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市を知ってもらう
次に やること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行会社を利用する（→全国にPRが可能） ・ 魅力・歴史等を説明してくれる人が必要 ・ 人が立ち寄れるように駐車場をつくる ・ 同窓会・県人会等でパンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市に来たいと思ってもらう
時間を かけて やること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各項目のスペシャリストを設け、県外に出向いて魅力をPR ・ 神埼市の歴史についての物語、ドラマ放送などができれば… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市に住みたいと思ってもらう
■誰がやる（役割分担）		
住民が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS で発信 ・ 同窓会等の活用 	
行政が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神埼市のホームページ 	
その他 関係する 仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・ マスコミ、旅行会社の活用 ・ 観光パンフレット作成 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 歴史の勉強会に参加する
- ◇ 神埼市をPRするパンフの作成（歴史の視点）
- ◇ SNSで積極的に発信する
- ◇ SNS・同窓会等で神埼市の情報発信



4班まとめ

プロジェクト名称	神埼市民がまちのことを知る機会づくり 歴史・文化・自然の継承	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐ やること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味の人を活用 ・他のテーマと合同 ・観光・歴史・自然ボランティアの育成、やりがいづくり ・野草などの観察会（自然、材木） ・キーワードを作る+アプリ+ポイント ・SNSの活用 ・図書館（機能・職員・資料の充実） ・文学散歩の周知 ・留学生との交流（視点を活用） ・財源の確保 ・土地、地域についての情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・神埼（歴史・文化・自然）の周知
次に やること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・認知度・活用度の調査 ・HP・アプリでの地元の情報発信 ・教育・授業との連携 ・既存施設の活用 ・マスター制度 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が知っている ・市報（回覧板）を家族全員が読む ・段階的な知識充実 ・子どもの居場所
時間を かけて やること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館のレベルアップ ・会議（お茶会、座談会）の継続・向上 ・話し合いの意見の反映できるシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を全てのスタートにする ・図書館に行けば何でも分かる ・図書館をよろず相談所に
■誰がする（役割分担）		
住民が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の参加 意見の表出 ・住んでいる地区を見直す、知る ・歴史・建物を調べる ・情報の集約 ・できることからやる 	
行政が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・タテ割りの行政システムの見直し ・市民の意見を聞く、説明する ・市民と行政の協働（話し合いの場の運営など） ・全体を通して評価する。先のことを見る ・アプリ開発、SNS ・図書館（機能・職員）の充実 	
その他 関係する 仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・文化連盟 ・郷土研究所 ・文化の杜（読書ボランティア） ・社協、男女参画 ・教育機関 など 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 神埼の文化向上のために図書館の充実を願っています
- ◇ 自分の思いを人に伝え、輪を拡げたいと思っています
- ◇ 神埼市の文化向上のため図書館の充実が出来るよう声を出していきます
- ◇ まだ知らない神埼について知る・学ぶ
- ◇ 何でも参加してみます

5班まとめ

プロジェクト名称	神埼にある資源の活用・連携・観光ルートづくり	
■何をやる（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
<p>すぐやること</p> <p>1、2年目</p>	<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次計画の評価 現状の把握 ・プロジェクトチーム発足（市民・行政・関係団体） ・現在、どのような取組みがされているか、行政主導のもの、地域に継承されているもの、住民の取組み（NPOなど）を把握する <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域の資源・宝物を出し合う、リストアップ ・今ある資源などリストの確認 ・資源の洗い出し（そうめん、菱、歴史・文化、九年庵、偉人） <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源のジャンル（文化財・風景・景観・食材） ・観光ルートのテーマ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況を知る（継続すべきもの、改めるもの、始めるもの） ・住民が再発見できる神埼魅力をPRする ・体験型・癒し型・驚き型・魅力型を決めていく ・情報発信の方法（自ら？他人を使って？）を考える
<p>次にやること</p> <p>3、4年目</p>	<p>①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光の新たな創造 ・市民・各種団体・行政等の協議 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的観光 <ul style="list-style-type: none"> ・観る～食する ・海拔1m～1500m（四季の移り変わりを観光に取り組んだルートづくり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある資源活用策の提案（特に市外の人にとって）
<p>時間をかけてやること</p> <p>5年目</p>	<p>①②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・焼き物 ・昔の農業製品を今風に ・そうめん ・木工製品の体験 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が地元を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の人が喜ぶ地域づくり
■誰がやる（役割分担）		
住民がすること	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の良さを知る努力 ・SNSの活用による個々の情報発信 	
行政がすること	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の方へ魅力を伝える努力 	
その他関係する仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信に強い方（個人・法人など）を集める努力 	

私のチャレンジ宣言

<p>◇ 市についてもっと知り、会合等があれば参加したい</p> <p>◇ 地元脊振の人はもちろん、神埼、千代田の人ともつながって、海から山まで（0mから1055mまで）のおもしろい体験型の観光ルートを考える</p> <p>◇ “神埼のあることが当たり前”の魅力を自分から知る、活用する、伝える、の3段取り組むを行う</p> <p>◇ 健康で長生き。若さを保つ</p>

6班まとめ

プロジェクト名称	巡回販売車や巡回バス等の生活利便性の向上	
■何をする（具体的な取組み）		
	具体的に何をやるか	何を目標にするか
すぐ やること 1、2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートを分ける ・巡回バスルート変更 ・時刻表を見直す （鉄道、巡回バス、路線バス連携） ・商工会と協力して配達をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料利用者増
次に やること 3、4年目	<ul style="list-style-type: none"> ・注文制販売車 	
時間を かけて やること 5年目	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回バスの回数を増やす ・送迎団体の立ち上げ 地域の力で対応する ・乗合タクシー（障がい者の方は個別対応） ・住民タクシー 	
■誰がする（役割分担）		
住民が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・利用すること 	
行政が すること	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金 	
その他 関係する 仲間	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会 ・社協 ・タクシー会社 ・バス会社 	

私のチャレンジ宣言

- ◇ 販売移動車の件で商店と交渉します
- ◇ 利用する
- ◇ 物が売買される場の運営する。手伝いをしたい
- ◇ 商工会に呼びかけて商品の配達や巡回販売等の仕組み作りを行っていく

